

キディー通信2月号



さて、今年はとうかな？

1. 短編小説『杜子春』
2. 宮本 悦世の素晴らしい子供達
3. 広瀬 陽一のクイズ大好き 第10回

短編小説『杜子春』

先日、6年生クラスの授業時、生徒間で短編小説が話題になっていました。
『終わらない怪談』シリーズで、学校や日常生活を舞台とした怪談が一冊に18編収録されています。
面白いし楽に読めるので、本を読むのが苦手な友達にも勧めているとのことでした。

短編といたら忘れられない物語が僕にもあります。
それは、芥川龍之介の『杜子春』というお話。
小学生時代の夏休みの最終週、まだ読書感想文が完成していなかった（本すらまだ読んでいなかった）
僕は、図書室に行くととにかく短い物語を探していました。
そこで目にとまったのが芥川龍之介短編集。
数ある作品の中でどうして『杜子春』を選んだのかは、記憶していませんが、
ストーリーの展開が魅力的で、気が付いたらすっかり夢中になって読み終わっていました。
そのままの勢いで感想文を書き上げて 無事、新学期に提出。
上手に書けていると言って担任の先生がほめてくれました。
よっぽどうれしかったのか、気を良くした僕は芥川の他の作品にも興味を持ち、
次第に本そのものが好きになっていきました。

僕のように短編小説がきっかけで本のおもしろさに気がつく人もたくさんいるんでしょうね。
話題の『終わらない怪談』シリーズ、とあわせて『杜子春』、ぜひ一度読んでみて下さい！
おもしろいですよ。

杜子春 / 芥川龍之介（青空文庫）

http://www.aozora.gr.jp/cards/000879/files/170_15144.html



このシーンが衝撃で一気に引き込まれました。

広瀬 陽一

宮本 悦世の素晴らしい子供達

キディーの子供達は、一年生の時から『暗証道場』『日本都道府県名』などを通して暗記力を身に付けてきました。『暗証道場』では日本近代詩、西洋近代詩、そしてゴールは漢詩。低学年では、その意味も分からず ひたすら暗誦し、美しい言葉、リズムを学び 気がつくと文章構成力、大きな財産となる素晴らしい暗記力がついてきていると思います。『一分間スピーチの文章力』『東海道五十三次の宿場の暗記力』。私は 何て素晴らしい文章構成力、暗記力だろうと ただただ感心しています。やはり毎日の努力ですね。

これから先も自信をもって色々な事を楽しみながら目標をもって努力してチャレンジすることを続けていって欲しいと思います。



広瀬 陽一のクイズ大好き 第10回

僕のクイズコーナーも無事、10回目を迎えることができました。
クイズは、じっくり時間をかけて答を導き出すものもあれば、聞いた瞬間に答えがひらめくものまでさまざま。今日は、なぜなぜレストランに挑戦して下さい。

前回のクイズの復習と解答

問題	こたえ
① 男は家を飛び出し3回左折して家に帰ってきました。そこにはマスクをかぶった別の男性二人が待ち構えていました。この男の職業は何ですか？	プロ野球選手 マスクをかぶった人は、キャッチャーとアンパイア（審判）
② 川があっても水が流れていません。都市があっても建物が建っていません。これは一体どういうこと？	地図。 これは、難しかったかな？
③ 男の子がボールを思い切り投げました。ボールは物にも人にも触れずに彼のところへ戻ってきました。それはなぜですか？	ボールを頭上に投げたから 万有引力の法則によりボールは投げた場所へ戻ってきました。

今月のクイズ問題

問題
① ふわふわの黄色い布団に赤インキをこぼしたような食べ物なあに？
② ミルクを入れて飲むティーは、ミルクティー。では、クルクルと巻き付けて、食べるティーは？
③ 食べると三度、勝負に勝つ食べ物なあに？
④ これを食べるとお茶が半分ほしくなる食べ物なあに？
⑤ 食べられる、お寺ってなあに？



第10回特別記念、全問正解者にはチケット10枚をプレゼントします！（＾＾♪
（1問正解につきチケット1枚）